J. Jpn. Soc. Soil Phys.
土壌の物理性
No. 159, p.99～101 (2025)

シンポジウム特集
資　料
Miscellaneous

2024 年度土壌物理学会大会 大会参加助成採択者の声

2024 年度大会では，学部生の学生会員を対象に大会参加を支援する交通費等助成を実施しました． 採択された皆様には，大会参加後の所感をお寄せいただきました．その一覧をここに掲載します．

植木 優（佐賀大学農学部 3 年）

土壌物理学会大会に参加して，ポスター発表が非常に活発であると感じました．ポスターセッションに参加されている皆さんの熱気が会場内に満ちており，至るところで活発な議論が行われていたことが印象に残っています．私は今回初めて発表させていただきましたが，いろいろな立場の方と対話して，新しい実験条件を見つけたり，技術の新たな将来性に気づいたりすることができました．準備段階で想定していたよりもはるかに活発な意見交換をすることができ，来てくれた方々が熱心に説明や意見を聞いてくださったことが非常に嬉しかったです．また，他の大学の方々と交流して，自分の挑戦が不足していることを痛感し，自分もさらに努力しようという前向きなエネルギーを得ることができました．最後に，ポスター発表者だけではなく，聞き手にも熱量があること，また先生や生徒といった立場に関わらず議論することができることが非常に恵まれた環境であると感じました．この度，助成を採択していただいたことに心より感謝申し上げます．この経験を活かして，より一層研鑽を積みたいと思います．

近藤希美（佐賀大学農学部 3 年）

初めて土壌物理学会に参加させて頂きましたが，シンポジウムやポスター発表では高度な技術や知見といった内容に圧倒されました．シンポジウム中は自身の知らない言葉や解析法があり，自身の未熟さを痛感し，土壌物理学の知識を積む必要性を感じました．内容だけでなくスライドや発表方法も知識の乏しい自身でも聞きたいと思うものが多く，そのような点もこれから習得したいと思いました．ポスター発表では自身の興味のある塩類集積に関する発表を聞き，実験装置の仕組みや考察のことなど多く質問させて頂く中で新たな学びや視点を得られました．

情報交換会では普段接する機会のない他大学の先生方や学生と交流させて頂き，その中で大きな刺激を受けました．自身と同じ学部 3 年でありながらポスター発表をされた方に驚き，その姿勢を見習い一層努力を積みたいと思いました．

全体を通して土壌物理学という分野の奥深さを再確認しました．そして来年は自身もポスター発表を行うこと，大学院へ進学し高度な研究を行うという目標が明確になりました．実現のためにも，現在受講している大学の講義を真摯に学び，受け身の体勢ではなく自身で知識を得て活用させる姿勢を構築したいと決意しました．

最後に，学会への参加，助成の採択をして頂いたことに，この場をお借りし感謝申し上げます．

中島萌花（佐賀大学農学部 3 年）

学会に参加したことで，土壌物理学に関する最新の研究動向について知ることができました．一言で土壌物理学といっても研究内容は多種多様であり，様々なアプローチで研究が進められていることが分かりました．発表を聞いている中で，専門用語や見慣れない装置が多く出てきたことで，自分の知識不足を痛感し，学会に行く前にもっと専門的な知識を身につけておくべきだったと感じました．

また，学会発表前にはどのような準備が必要か，どのようなポスターが見やすいかを肌で感じることができました．必要な準備とは自分の研究について深く学び，質問されても的確に答えられるようにすること，聴く人の関心を引きつけるような明確で簡潔な説明を習得することだと感じました．ポスター発表を聴いていると自分の研究を楽しげに語る人が多く，その姿勢に感銘を受けました．

情報交換会では，学部生，大学院生だけでなく他大学の教授とも交流する機会があり，貴重な経験を得ることができました．学会参加を通して，研究に対するモチベーションがさらに高まりました．今回得た知見を今後の研究活動や学会発表において最大限に生かしていきたいと思います．

中山伶音（佐賀大学農学部 3 年）

今回, 初めて土壌物理学会に参加し, 土壌物理学がいかに多様で社会に貢献できる研究分野かを実感しました．例えば，CO_2 削減を通じて地球温暖化の抑制に貢献する研究や，農業の発展につながる研究，土壌物理学の新たな発見につながる研究など，それぞれ異なる切り口で取り組まれており，今後の応用範囲の広さを感じました．

また，自分が現在進めている研究や将来やりたい研究に近い発表から多くのことを学ぶことができ，自分の研究の意義や背景を見つめ直すきっかけにもなりました．一方で，まだまだ知識やスキルを深める必要があるとも感じ，今後の課題が明確になりました．今回見つかった課題を改善し，来年は発表者として学会に参加できるよう努力したいと思います．

さらに，学会では多くのポスター発表を見て，内容を視覚的にわかりやすく伝える工夫の重要性も痛感しました．情報を整理し，誰が見ても理解しやすいポスター作りが大切だと感じました．今回あった発表の良いところを吸収して，自分の発表にも役立てたいと考えています．

今回の土壌物理学会への参加を通して感じたことや，学んだことを生かして今後の研究活動に取り組んでいきたいと思います．

福田日毬（三重大学生物資源学部 4 年）

今回，助成を受けて土壌物理学会に参加することができ，大変貴重な機会となりました．特にポスター発表では，多くの方々からご意見やご指摘をいただけ，自分の研究について　再考することができました．現段階で不足している知識や考え方を痛感し，これからの進め方に必要な新たな視点などを理解することができました．また，近い研究テーマの方々の　発表を聞くことができ，同じ水田という対象でも，着目している部分が異なっており，私の研究テーマに関する知識が深まったと感じました．

さらにシンポジウムの田崎さんのお話は，私の研究テーマと重なる部分が多く，新しい視点を得る事ができ，今後の参考となりました．シンポジウムでは，ミクロから AI の分野まで幅広いテーマに触れることができ，垣根を超えた分野とのつながりを考えながら研究を行っていく事の重要性を感じました．

助成をいただけたおかげで，学部生のうちにこのような貴重な経験をすることができ，これからの研究および勉学に対する意欲を高める事ができました．今回の経験を活かして，来年はポスター賞を目指して，今後より一層努力を重ねていきたいと思います．

柳侑香里（三重大学生物資源学部 4 年）

土壌物理学会の現場に足を踏み入れたのは初めての経験であったが，大変得難い経験が出来た．ポスター発表では同じ土壌物理の志を持つ同世代との交流に感銘を受けた．話を聞き意見を交換している中で，声のトーン，表情，説明からも研究の楽しさ，行き詰まり，悩みをリアルに実感した．研究に対する複雑な感情を抱えているのは自分一人では無いことを知り勇気を貰った．また研究のテーマや手法の多様性を学べたことも印象深かった．教科書や授業では得られない実際の研究の最前線を拝見し非常に刺激的な学びを得ることが出来た．

また学生だけでなく先生方も見回られていたことに驚いた．学生同士憚ることなく議論を交わし，研究の改善点や方向性を明確に出来新たな視点を得られる．それに加え，研究室外の専門家の方々から斬新なフィードバックを受けることのできる貴重な機会であった．来年こそは発表したいという憧れが一層強まった．

自身が日々心血を注いでいる研究を，自分の中だけ研究室の中だけに閉じ込めておくのはもったいない．学会は研究室という殻を打ち破り，互いに自身の研究を磨きあう重要な機会であり，研究の発展に大きく寄与すると思われた．学部生も含め，より多くの人が参加すればいいと思った．このような貴重な機会を頂けたことに感謝しつつ，今後，一層勉学 · 研究共に頑張りたい．

藪内友佑（三重大学生物資源学部 4 年）

今回，土壌物理学会大会に参加し，全国の研究者や学生と交流できたことは，大きな刺激となりました．特に，同年代で土壌物理の研究に取り組まれている方の発表は，今後の研究への意欲を高めてくれました．様々な研究内容に触れることで，土壌物理の可能性や自分が取り組む課題の参考になりました．

また，今回，ポスター発表の機会を得られたことも貴重な経験でした．発表を通じて，自身の研究テーマである凍土が，土壌物理の中でも比較的ニッチな分野であることを認識しました．だからこそ，凍土や関連分野への理解を深めるとともに，より明確で分かりやすい説明ができるようになる必要があると感じました．

シンポジウムや総合討論では，土壌物理に用いられる数値シミュレーションや AI 技術，情報通信技術について知ることができました．これらの技術は，今後研究を進めていくうえでは必須となるものと感じましたが，現状の知識では十分に理解することができませんでした．今後は，これらの分野についても知識を深め，自身の研究に活かしていきたいと考えています．

最後に，今回の学会参加にあたり，学会大会参加の助成をいただいたことに心から感謝申し上げます．

山井美季（新潟大学農学部 4 年）

この度は貴学会大会への参加助成のご支援ありがとうございました．大会に参加して，2 つの所感を述べさせていただきます．

1 つ目は，貴学会では土壌中の水分 · 熱移動に関する計測 · 予測やモデル解析が活発におこなわれているということです．「計測は本学会の強みである」とおっしゃる先生もいらっしゃいました．私の卒業論文では現場の土壌を採取し，室内実験をすることでデータを得ているので，現場での計測やソフトウェアによる解析に弱いのですが，学会員の皆さまがされていることを理解できるようになりたいと思いました．

2 つ目は，学会員同士の距離が近いということです．シンポジウムでもポスター発表でも，近い分野の研究者がお互いの研究について活発に議論していました．私も水田の団粒や有機物についてポスター発表をおこない，様々なご意見やご指摘をいただくことができました．自分の研究について他の人と議論するということは私に欠けていたことです．しかし，議論を重ねなければ，多く

の人に理解され，発展を望める研究にはならないと実感しました．今回大会に参加して同年代の仲間を得ることができたので，彼らとの縁を大切にし，積極的に議論を交わして，研究を楽しんでいきます．

山本日和里（石川県立大学生物資源環境学部 4 年）

この度，土壌物理学会への参加助成およびポスター発表の機会をいただき，心より感謝申し上げます．初めての学会参加で非常に緊張しましたが，他の研究者や学生の発表，議論を通して多くの学びを得ることができ，大変有意義な経験となりました．

ポスター発表では，他の発表者のポスターの構成や発表の仕方から，内容の分かりやすさや視覚的な工夫がいかに重要であるかを再認識しました．特に写真や図だけでなく，動画などを用いて説明することで，研究の意義や実験のプロセスが効果的に伝わることに気付きました．今後の発表では，こうした工夫を取り入れて，さらに分かりやすい発表を目指していきたいと思います．また，質疑応答や情報交換会では，他大学の学生の方々と意見交換ができ，非常に刺激を受けました．学校での過ごし方や実験での工夫 · 苦労など，研究に限らず日常的なことについても話し合えたことで，大変励みにもなりました．

今回の学会参加を通して得た知見や経験を今後の研究活動に活かし，日々努力していきたいと思います．改めて，貴重な機会とご指導をいただいた先生方，学会でお世話になった皆様に心より感謝いたします．

（学年は大会参加時）